

平成 21 年度 地域ケアプラザ事業報告書

1 施設名

横浜市藤棚地域ケアプラザ

2 事業報告

今年度、地域ケアプラザの管理運営をどのように行なったのか、事業計画書を基に具体的に記載してください。

(1) 施設の適正な管理について

ア 施設の維持管理について

建物・空調設備、消防設備等の保守点検を定期的に行い、また日常清掃や消耗品の補充等における日常の管理を通して、ご利用者が安心して、また安全にご利用いただけるよう努めました。

地域ケアプラザの施設は様々な方が利用されるので、感染症予防のために毎日、トイレ・手摺・ドアノブ等の殺菌消毒を行いました。

イ 効率的な運営への取組について

地域ケアプラザの労務、経理等の事務処理に関して、法人本部と連携して、業務や役割の分担を図りながら事務を効率的に実施しました。

また建物管理、保守、送迎車輛リース等の委託業者の選定にあたっては電子入札を実施し経費削減を図りました。

ウ 苦情受付体制について

法人で苦情解決規則を定めており、それに基づき地域ケアプラザにおいても苦情受付担当者、苦情解決責任者を設置して、ご利用者からのご意見・ご要望、苦情等に対応しました。また法人では公正・中立の立場からあつせん、調整を行う第三者委員会を設置し、適切な苦情解決に向けての体制を整備し取り組みを図りました。

エ 緊急時（防犯・防災・その他）の体制及び対応について

年 2 回、デイサービスのご利用者や貸室ご利用者等を含めた避難訓練を行い、緊急時に落ち着いた行動が取れるよう訓練を行いました。その内 1 回は藤棚地区センター・藤棚ハイツとの合同防災訓練を行いました。

地域ケアプラザは区役所と特別避難場所の協定を結んでいますので、災害時には要援護者の非難場所に指定されます。地域に要援護者の避難施設であることの PR をするとともに、日ごろから災害応急備蓄物資や防災対策マニュアルを整備し、職員の意識を向上して災害緊急時に備えました。今年度は応急備蓄用の備蓄庫を設置しました。

オ 事故防止への取組について

介護サービスの提供中にヒヤリとしたりハツとしたことなどを朝夕のミーティングの場において報告し、職場内で注意を喚起しながら事故を未然に防ぐ努力を継続的に行いました。また所内での会議などにおいても法人内の他事業所での事故の事例や横浜市の事故防止の手引き・事業所内の事故防止マニュアルを活用するなど、事故防止に関する研修を組み入れ、職場における危機管理の意識を高めました。

カ 個人情報保護の体制及び取組について

法人では個人情報保護規程を定め、地域ケアプラザでは個人情報の管理に関する担当者、責任者を定めています。また施設内で個人情報保護、情報セキュリティ研修を年1回以上行い意識の啓発に努めました。

実際の個人情報の取り扱いとして、契約書、記録類、また USB メモリーなどは施錠できるロッカーなどで保管しています。

基本的には外部への持ち出しは厳禁ですが、どうしても携帯が必要な場合には、紛失や情報漏えいのないよう最小限の情報のみを携帯するようにしています。また、ファクスや郵送の誤送信が起らないよう、取り扱い手順を決めて、日常業務を行っています。

デイサービスのご利用者の記録書等の取り扱いについては、誤返却防止のために、看護師、生活相談員、介護スタッフで3段階チェックを行いました。

研修ではご利用者様の個人情報を大切に扱うことは「人を大切にする」と同義であり、サービスの基本である事を全員で確認しながら、チェックシートの活用により業務の振りかえりを行いました。その結果、平成21年度のセキュリティ事故はありませんでした。

キ 情報公開への取組について

地域ケアプラザにおいて情報開示の請求があった場合には、法人で定めた情報公開規程にのっとり、積極的に情報を公開することに努めています。またホームページを活用して各種事業に関する情報などを幅広く市民の方に提供しました。

ク 環境等への配慮及び取組について

節電・節水・コピー用紙の裏面活用・ごみの減量化を励行し、経費削減に取り組みました。特に21年度はトイレ洗浄と洗面台の自動洗浄・流水の擬音を導入し節水に努めました。横浜市「ごみゼロルート回収」のルールに従い、資源ごみの分別収集を行いました。ご利用者の皆様にはごみの持ちかえりや館内での禁煙をお願いしています。また、使用していない部屋の照明をこまめに消し、暖房・冷房の季節には適切な室温を維持するなど、節電への取り組みを継続的に行いました。毎月1回、空気環境測定を行い、室内環境の適正な維持に努めています。外構の環境整備については、地域作業所の活動の場として清掃作業を委託して実施しました。また、低木の剪定についてはボランティアに依頼して行いました。

(2) 職員配置・育成について

ア 職員体制について

専門職を配置し委託事業を適切に実施しました。介護保険事業については人員配置基準を遵守して業務を行いました。多様なニーズや介護保険制度見直しなどの社会情勢の変化に対応し、専門分野に限らず、多様な業務に対応できる職員の育成を目指し、各種研修に参加し幅広い知識と技術を身につけた職員を育成するよう努めてまいりました。

イ 職員の研修計画について

年度当初に法人全体と事業所内の年間の研修計画をたて、より良いサービス提供を目指して、職員の定期的な研修を実施しました。外部研修にも積極的に職員を参加させるとともに様々な研修情報を職員に提供し自己啓発研修や、資格取得を勧めました。

(3) 事業内容

ア 関係機関との連携について

福祉・保健に関する様々な事業を展開していく中で、区の福祉保健センター、社会福祉協議会、福祉施設、地域の医療機関、地域の福祉保健団体、ボランティア団体、介護サービス事業者などと日頃から連携を取り、役割分担を行いながら、高齢者、障がい児・者、子育ての支援を行いました。

イ 福祉保健活動等に関する情報収集及び情報提供について

地域ケアプラザの職員は地域の様々な保健福祉活動や団体の活動に参加させていたがきながら、皆様から地域の情報やニーズを収集させていただき事業運営に反映させる様努めました。また、年1回アンケート調査を地域の保健福祉団体や貸し室利用団体に行い、ご意見の収集とともに業務の振りかえりを行いました。

地域ケアプラザは広報誌（年4回発行）やホームページにより地域の情報や制度情報、ケアプラザの事業のご案内などをより分かりやすく、迅速に地域の皆様に情報提供するよう努めました。今年度の広報誌では各町内会長のご紹介をする中で、個別に地域のニーズについてお話を伺いました。また、地域の情報をまとめたファイルを窓口を設置し、閲覧できる体制を整えて、随時内容を更新しています。

ウ 地域福祉のネットワークの構築について

地域ケアプラザは地域の福祉保健活動団体と連携するために定期的な会合や地域の行事に参加し、日常的に情報交換を行いながら地域のニーズを把握しながら、様々な事業を行いました。

支えあい勉強会において地域のどなたでも参加できる体制を整え、地域住民に呼びかけて、地域で必要とするネットワークの基盤づくりと顔の見える関係づくりをしました。今年度の勉強会は「障がいの理解」をテーマとし4回の勉強会を実施しました。その中で地域内にできた障がい者施設の概要や障がいの特性について地域住民と共に学びました。

エ プラザの各機能を活用した、地域の福祉保健に関する拠点としての機能の発揮について

地域の皆様の福祉・保健活動等の支援や交流の場として、多目的ホール等の貸し室をご利用いただきました。また、地域ケアプラザ主催の教室や講座を開催し誰でも集える場を提供して住民の皆様がいきいきと過ごせるよう支援しています。

地域包括支援センターは地域の身近な相談窓口として保健・福祉の専門の相談員が相談を無料でお受けし、情報提供や関係機関との連絡調整を行いました。

高齢者の通所介護事業（デイサービス）や居宅介護支援事業（ケアプランの作成）では要介護者が地域で自立した生活を送れるよう支援しました。これらの各事業が連携を取り合いながら、地域のニーズに応じた保健・福祉サービスを提供してまいりました。事業を実施する中で区役所や地域の関係団体との連携を図り、地域のネットワークを構築できるよう努めました。

オ プラザ内の各部門間の情報共有の方法、連携等について

各部門での検討事項、決定事項については、定例の会議・毎朝のミーティング等の中で職員全員に周知しました。日常的には報告・連絡・相談を相互に行い、職員間のコミュニケーションが円滑に行えるように努めています。ローテーション勤務であるため連絡もれが起こりがちですが、連絡メモ・連絡ノート・所内メールを活用し、様々な情報については所内回覧やメールによる情報の共有化を図りました。

パートスタッフ向けには連絡ノートと掲示板の活用により、お客様への対応を統一しチームケアを行いました。

● 地域活動・交流事業

ア 地域の現状（課題）及び、これに対する施設の基本的な取り組みについて

急な勾配の山坂や細い道路が多い地域であり、古くから住んでいる住民が単身や高齢夫婦世帯となり、外出に困難が生じている方が多く見受けられます。住民の高齢化率は25.7%を超えており、地域で活動する役員やボランティアも高齢化しているため後任を探すのに苦労されています。

高齢者が地域で自立した生活を継続できるよう介護予防の考え方を啓発し、社会的交流の場を提供して要介護状態にならないよう働きかけました。要介護者になった場合は居宅介護支援事業者やサービス提供事業者と連携して継続的に支援を行いました。

子どもの人口は少ない地域ですが、乳幼児を抱える親が孤立している状況が散見されます。地域ケアプラザで子育て中の親が気軽に相談ができ、情報交換や交流できるように定期的な子育て支援事業「ピーナツクラブ」を行いました。

また、地域活動交流事業ではインフォーマルサービスの提供やネットワークの構築、地域住民への様々な情報発信を行うよう努めました。

イ 福祉保健活動団体等が活動する場の提供について

登録団体の福祉保健活動を把握し、団体の皆様がより一層地域で活発に活動していただけるようコーディネートしました。今年度自主化した団体は5グループありましたが、その活動を支援し、地域に開かれた活動を行うようお願いし、実施できました。地域の皆様が施設を利用するに当たり、年1回アンケートを行い、または受付に「ご意見受け付け箱」を設置して、常時ご意見やご要望を受け付けて、活動しやすい場の提供に努めました。今年度は来館者数の目標を月平均1,100人としました。その結果月平均1,243人の来館者がありました。地域に配布する広報誌を利用して貸室利用に関する情報提供を行いました。また、団体間の連携を図れるよう年に2回、懇親会を開催して、交流を図り団体間のネットワークを構築するよう努めました。

ウ 運営協議会の開催時期・議題について

●開催時期

第1回 6月11日（平成20年度事業実績報告・平成21年度事業計画
運営委員の交代について
ケアプラザ祭について

第2回 11月26日（平成21年度上半期事業実績報告・下半期事業計画
平成22年のケアプラザ祭りの日程について

●議題

運営協議会では、現在ケアプラザ全体で取り組んでいる自立支援の取り組みの様子を報告すると共に、地域の皆様に参加していただきやすい「ケアプラザ祭り」の実施について委員の皆様にご意見を頂きました。

エ ボランティア育成及びコーディネートについて

10月より「ヨコハマいきいきポイント」についてPRを行い、新たにボランティア活動を始められた方6名を受け入れました。これまでもケアプラザでボランティア活動をされていた方にも研修会を紹介し、今までよりも活動の幅が広がるよう働きかけました。また、ボランティア個人と団体の感謝会を年2回行い、日頃の活動をねぎらうとともに、情報交換を行うことで、活動の活性化と広がりが得られるよう支援しました。

小中高校生がボランティア体験できるように活動の場を提供し、支援しました。西区社会福祉協議会と共催でボランティア講座を開催しました。

オ 貸し館の稼働率目標、及び利用促進策について

地域ケアプラザの貸室においては、地域の保健・福祉・医療の団体に有効活用していただけるよう、広報誌等で利用状況等を情報提供し稼働率の向上に努めました。使用団体がなるべく重ならないよう助言し、自主事業を行う時は稼働率が少ない時間帯に設定しました。

カ 福祉保健活動（インフォーマルサービス）の開発・新たな地域福祉の担い手の育成のための自主事業の展開について

高齢者の分野では脳力向上プログラムに継続して「脳の健康教室」を行い、認知症予防に効果的な教室が実施できました。配食サービス「みつわの会」では、70歳以上の一人暮らし高齢者の安否確認を兼ねて配食を行いました。子育て分野では「ピーナツクラブ」や「ベビーマッサージ」により子育て支援事業を行いました。また、「認知症高齢者と園児の交流」を異世代交流事業として実施。障がい児の放課後支援として「とんぼ」、その他の分野ではパソコンサロンを実施しました。

平成20年度に自主事業から自立化した体操教室2グループ・淡彩画教室・ヨガ教室・折り紙の会は活発に活動を継続しており、地域のインフォーマルサービスとして活躍しています。今後もケアプラザはこれらの団体の活動支援を行っていきます。

キ 区行政との協働について

西区の第2期地域福祉保健計画と地区別計画の策定に向けて西区や西区社会福祉協議会とともに協働してまいりました。また、計画の目標達成に向けて様々な場面で協働で事業を実施しました。

○安心なまちづくりを目指し、地域全体でサポートを必要とする人を見守るために、ミニデイサービスや配食サービスその他、ケアプラザの機能を活用して地域の中で支援のネットワークを構築するよう働きかけを行いました。また権利擁護や悪質商法に対する知識を啓発する講座等を行いました。

○活気のある健康なまちづくりのために、健康作りの体操教室を2グループ、介護予防教室2コース開催しました。ミニデイサービス「赤い靴」や地域への出前講座などで介護予防に関する知識をお話して啓発活動を行いました。認知症の理解と地域の中での見守り活動の啓発事業として「キャラバンメイト」の講座を実施しました。

○一人ひとりの個性を認め合い、みんなが共存するまちづくりのために障がい児の放課後支援事業を区社会福祉協議会との共催で毎月2回行いました。また小中学生にボランティア体験や福祉体験の場を提供し福祉への理解を深めていただきました。今年度の支えあい勉強会では「障がいの理解」をテーマに区内に開所した「生活支援センター」や「生活創造空間にし」等の障がい者施設と連携して勉強会を行いました。

○地域全体がつながりを持つまち 地域の様々な団体の参加を頂き、ケアプラザ祭りを開催し延べ428人に参加していただきました。その他地域のお祭りや商店街の「へそ祭り」、区民祭りに参加させていただきました。支えあい勉強会やケアマネサロンを開催して、団体間の情報交換やそれぞれの役割の理解に努めました。

○子どもが健やかに成長できるまち 子育て支援事業として「ピーナツクラブ」を保育所子育てひろば市立常設園「あそびの杜保育園」との共催で、親子がふれ合いながら楽しめる講座を毎月行いました。こども絵手紙教室は毎月、ベビーマッサージは単発の講座として実施しました。

○情報が正確に伝わるまち 情報アドバイザー「e ネットにし探検隊」によるパソコン指導とインターネットの使い方指導を行いました。地域ケアプラザの広報誌やホームページを活用して福祉保健の情報を発信しました。

その他、第二期地域福祉保健計画の策定に向けて、地区別懇談会や地域福祉保健計画検討会にも積極的に参加し、地域のみなさまと協働して策定に関わりました。

● 地域包括支援センター事業

ア 地域包括支援センターの役割の周知や活用に関する工夫について

地域包括支援センターの役割について、広報誌やパンフレットを掲載し町内で回覧して頂きました。連合町内会や、自治会、民生委員・児童委員協議会の会合の席に積極的に参加させていただき、地域包括支援センターの役割について説明をさせていただきました。また地域ケアプラザ内での各種講座やミニデイサービス「赤い靴」などではご利用者の皆様に、制度の利用方法や悪質商法に対する注意など様々な情報を継続的に発信させていただいています。地域の老人会に出前講座させていただきました。「西区ケアマネ研究会」と連携してカンファレンスや担当者会議の開催支援・研修会を開催しました。

イ 介護予防の推進や地域づくりのための具体的方策について

- 町内会や老人会、一人暮らし高齢者食事会、趣味の教室などに「出前講座」をさせていただき、介護予防の重要性についての啓発を行いました。
- 町内の「ふれあい会」や老人クラブの友愛活動推進委員との連携により特定高齢者を発掘し介護予防事業に結びました。
- 地域の民生委員や自治会長から心配な高齢者を紹介していただき、同行訪問させていただきながら地域でともに支援しました。
- 地域活動交流事業と連携し介護予防教室（童謡唱歌を歌う会、編み物の会、体操教室等）への参加を推進しました。また、区と協力して体力向上プログラム2コースや脳力向上プログラムを活用した介護予防事業に取り組みました。
- 健康作りのための転倒骨折予防体操 OB 会やウォーキングの会の支援を継続して行いました。
にこにこしにあセミナーや健康教育の講座等でチェックリストを194枚行い、その内特定高齢者を11名発掘して介護予防プログラムに結びました。

ウ 介護予防ケアマネジメント事業

- 地域ケアプラザの広報誌や地域活動交流事業の各講座で介護予防の取り組み状況を紹介しました。
- 高齢者向けに、いきいきチェックリストを活用してアンケートを行い、心身機能が低下している高齢者を発見して、介護予防プランと一緒に作り介護予防事業に結びつけることで、健康な生活を目指しました。
- 地域支援事業や地域住民による様々なサービスや集まりとの連携を図りながら介護予防ケアマネジメントを行いました。
- 閉じこもり傾向のある方には区と連携して訪問型の指導を行いました。
- 地域活動交流事業との連携を図り、ケアプラザにある自主事業等のインフォーマルサービスを活用して介護予防のケアマネジメントと一緒に取り組みました。
- 介護者教室として「シルバーサロンほのぼの」を年10回実施し、150名の参加がありました。
- その他、地域にお住まいの高齢者ができるだけ要介護状態にならないよう、様々な方法を考えて取り組みました。

エ 総合相談・支援事業

- 地域ケアプラザで24時間、高齢者だけでなく障がい児・者、子育てなどの相談が受けられることを、広報誌やホームページなどでPRしました。
- 3職種（保健師等・社会福祉士・主任ケアマネ）が連携を取りながらご相談をお受けし、必要なサービスが受けられるよう継続的に支援しました。相談件数は853件訪問回数は376件です。
- 定期訪問により地域の実態把握に努めました。
- 区と情報の共有に努め、連携を図りながら対応し、必要時は医療機関や専門機関に繋げながら支援しました。
- 地域の福祉保健団体等の方から相談があった時には迅速に対応し、必要に応じて同行訪問をしました。

オ 権利擁護事業（現状・被保険者への虐待防止・早期発見等）

- 区の「高齢者権利擁護サポートネット」に参加し、知識や技術を向上させるとともに、専門機関にすぐに相談できる関係作りをしました。
- 連合町内会や民生委員協議会に頻繁に出かけ、顔の見える関係作りを日頃から行い、相談しやすい地域ケアプラザを目指しました。
- 介護負担の大きいご家族には、区内のボランティア団体である「介護者の集い あげぼの会」を紹介して、連携をとりながら支援を行いました。介護者の集いと共催で定期的に交流会を行いました。
- 虐待事例を発見した場合には区役所や他の専門機関と連携をとりながら対象者やご家族の支援を行いました。

カ 包括的・継続的ケアマネジメント支援事業

- 毎月第1水曜日を区の担当者とのカンファレンスと設定し、定期的にエリア内の情報交換と支援方針を協議しました。その他、タイムリーなカンファレンスの開催やケアマネジャーからの相談対応を区の担当者と3職種で連携して行いました。
- 西区ケアマネ研究会に参加し、研修や講座を協働で企画しお互いの技術向上に努めました。
- 医師会、サービス提供事業者、地域の組織・団体との連携により、包括的・継続的なケア体制の構築を目指しました。病院からの相談対応件数は70件でした。
- 介護支援専門員向けの勉強会や研修会「ケアマネサロン」を年13回開催し、顔の見える関係作りと相互の専門技術の向上に努めました。

キ 介護予防事業（体力向上プログラム等）

西区内にお住まいの65歳以上の高齢者向けに、1クール（5回）の体力向上プログラム「にこにこしにあプログラム」を2コース（5月コース・1月コース）を実施しました。体操による体力の向上を目指すとともに、認知症予防、栄養指導、フットケア、口腔ケア等、生活習慣を改善して高齢者がいきいきと健康に長寿を過ごすことができるよう、情報提供や生活指導を行いました。事業が終了しても継続的に地域やケアプラザの介護予防事業に参加するようお勧めしました。また、認知症予防事業として脳力向上プログラム「脳の健康教室」を受託して14回の事業を実施しました。

ク 介護予防支援業務の取り組みについて（実施体制等）

《職員体制》

地域包括支援センターの3職種と非常勤の介護支援専門員2名は、介護予防支援のケアプランが適正にご利用いただけるよう努めました。

《目標に対する取組状況》

介護予防支援計画の作成にあたっては、利用者の意思及び人格を尊重し、自立に向けて設定された目標を達成するために、利用者及びその家族の主体的な参加とともに、適切な保健・医療・福祉サービス及びボランティア団体等との連携を図り総合的なサービス提供の調整に努めました。可能な限り住み慣れた地域で自立した日常生活を営むことができることを目指しました。

事業の運営にあたっては公正中立な立場で、多様で総合的なサービス調整を行いました。

《実費負担》

実費負担はありませんでした。

《その他（特徴的な取組、PR等）》

地域包括支援センターから居宅介護支援事業所に委託ができることとされている介護予防支援業務については、利用者の選択を十分に尊重した上で、サービス利用者と従来からケアプランを作成していたケアマネジャー・居宅介護支援事業所との信頼関係を維持するためにも、原則として介護予防支援業務を委託しました。

ご利用者が在宅生活を継続できることを目標に、やる気を引き出す支援に取り組みました。

《利用者実績》

※ 単位は省略してください。

【単位：人】

4月	5月	6月	7月	8月	9月
140	134	143	146	143	139
10月	11月	12月	1月	2月	3月
138	137	136	137	133	133

● 通所介護事業

《提供したサービス内容》

- ご利用者が自立した日常生活を営むこと及びご利用者のご家族の負担を軽減させていただくことを目標に、ご利用者の心身の特性を踏まえ、そのお体の状況に応じて、入浴・排泄・食事等の介護等を行うとともに、個別機能訓練等を行いました。また、ご利用者のご家族に向けて家族会を行いました。
- 事業の実施にあたり、関係行政機関・地域の保健・医療・福祉サービス・ボランティア団体等との連携を図り、総合的なサービス提供の調整に努めました。
- サービスの種類
 - ① 通所介護計画の作成
 - ② 生活指導（相談援助等）
 - ③ 機能訓練（日常動作訓練）
 - ④ 介護サービス（移動や排泄の介助、見守り等のサービス）
 - ⑤ 健康状態の確認
 - ⑥ 送迎
 - ⑦ 食事
 - ⑧ 入浴
 - ⑨ 個別機能訓練
 - ⑩ 口腔機能向上訓練

《実費負担（徴収した場合は項目ごとに記載）》

- 1割負担分(1回あたりの金額)
 - 基本額（大規模型通所介護（Ⅰ））
 - （要介護1） 695円
 - （要介護2） 811円
 - （要介護3） 926円
 - （要介護4） 1,041円
 - （要介護5） 1,156円
 - サービス提供体制強化加算（Ⅱ） 7円
 - 個別機能訓練 29円
 - 口腔機能向上加算 157円
 - 入浴介助 53円
 - 食費負担 650円
（1日あたりの食材料費・調理費（おやつ代含む））
- キャンセル料（前日の営業時間終了までに、ご連絡がない場合、食材料費450円。）

《事業実施日数》 週7日

《提供時間》 9:45～15:50

《職員体制》

- 管理者 1名（常勤兼務1名）
- 生活相談員 3名（常勤兼務3名）
- 看護職員 7名（非常勤兼務7名）
- 介護職員 25名（非常勤専従）
- 機能訓練指導員 7名（非常勤兼務7名）
- 事務員 2名（常勤兼務1名、非常勤兼務1名）
- 調理員 6名（非常勤専従6名）
- 運転手 5名（非常勤専従5名）

《目標に対する取組状況》

- ご利用者が自立した日常生活を営むことを目標にご利用者の心身の特性を踏まえ、その有する能力に応じて、通所介護サービスを提供します。
- 通所介護計画書の作成にあたっては、ご利用者の意思を尊重し、心身状況、その置かれている環境等に応じて、ご利用者が自立した日常生活を営むことができることを目標とします。計画の作成にあたっては、必要に応じてご利用者宅を訪問の上、状況調査を行います。
- 個別機能訓練や口腔ケアを行い、心身機能の向上を目標としています。
- サービス提供にあたっては、関係行政機関、地域の保健・医療・福祉サービス、ボランティア団体等との綿密な連携を図り、総合的なサービス提供の調整に努め、要介護状態の軽減もしくは悪化の防止又は要介護状態になることの予防に資するように十分配慮します。
- 地域ケアプラザは、従業員の資質向上を図るための研修を定期的に行います。また業務体制を整備します。

《その他（特徴的な取組、PR等）》

- ・「無料お試し利用」としてデイサービスを無料で体験していただき、ご本人が納得された上で利用に繋がりました。
- ・厨房で調理した季節感のある、温かくておいしい家庭料理を毎回提供しお客様には大変ご好評をいただきました。
- ・工夫を凝らした手作りおやつと、日本各地から取り寄せた銘菓をお楽しみいただいています。

《利用者実績（延べ人数）》

※ 単位は省略してください。

【単位：人】

4月	5月	6月	7月	8月	9月
774	808	789	806	801	785
10月	11月	12月	1月	2月	3月
800	766	746	754	741	796

● 介護予防通所介護事業

《提供したサービス内容》

- 「介護予防サービス計画（介護予防ケアプラン）」と「介護予防通所介護計画」等に沿って、送迎、入浴及び食事の提供、生活等に関する相談・助言、健康状態の確認や、その他、ご利用者に必要な日常生活上の支援、並びに機能訓練（日常動作訓練）を行いました。
- サービス提供にあたっては、「介護予防通所介護計画書」等に沿って、ご利用者ができることはご自分でいながら、社会的交流を持つことで、潤いを持った生活を楽しんでいただけるように支援しました。
- 事業の実施にあたり、関係行政機関・地域の保健・医療・福祉サービス・ボランティア団体等との連携を図り、総合的なサービス提供の調整に努めました。

● サービスの種類

- ① 介護予防通所介護計画の作成
- ② 生活指導（相談援助等）
- ③ 機能訓練（日常動作訓練）
- ④ 介護サービス（移動や排泄の介助、見守り等のサービス）
- ⑤ 健康状態の確認
- ⑥ 送迎
- ⑦ 食事
- ⑧ 入浴
- ⑨ 運動器機能向上
- ⑩ 口腔機能向上

《実費負担（徴収した場合は項目ごとに記載）》

- 1割負担分（利用料、利用者負担金は月単位の定額制です。送迎・入浴も単位数の中に含まれています。）

（要支援1）	2, 327円
（要支援2）	4, 549円
- 運動器機能向上加算 236円
- 口腔機能向上加算 157円
- アクティビティ加算 56円
- 食費負担 650円
（1日あたりの食材料費・調理費（おやつ代含む））
- キャンセル料（前日の営業時間終了までに、ご連絡がない場合、食材料費450円。）

《事業実施日数》 週7日

《提供時間》 9:45～15:50

《職員体制》

管理者	1名（常勤兼務1名）
生活相談員	3名（常勤兼務3名）
看護職員	7名（非常勤兼務7名）
介護職員	25名（非常勤専従25名）
機能訓練指導員	7名（非常勤兼務7名）
事務員	2名（常勤兼務1名、非常勤1名）
調理員	6名（非常勤専従6名）
運転手	5名（非常勤専従5名）

《目標に対する取組状況》

- ケアプラザは、可能な限りその居宅において、要支援状態の維持、もしくは改善を図り、自立した日常生活を営むことができるよう、ご利用者の心身の機能の維持、回復を図り、ご利用者の生活機能の維持、又は向上を目指し、ご利用者の意欲を喚起しながら支援しました。そのため、サービスの提供の目標に基づいた、「介護予防通所介護計画」等を作成し、サービスの提供を計画的に行いました。その結果、お客様の認定状況に改善が見られ、事業所評価加算が認められました。

《その他（特徴的な取組、PR等）》

- 運動器機能向上訓練をお客様個々のレベルに合わせて目標設定し、筋力の維持向上に努めました。
- 通所介護事業と一体的に実施する中で、お客様相互の助け合いや学び合い、役割を持つ活動の中から意欲や楽しみを見つけていただけるように、お客様同士の交流に力を入れて事業を実施しました。

《利用者実績（契約者数）》

※ 単位は省略してください。

【単位：人】

4月	5月	6月	7月	8月	9月
30	30	30	28	27	28
10月	11月	12月	1月	2月	3月
29	29	31	30	31	30

● 居宅介護支援事業

《職員体制》

管理者 1名（常勤兼務）管理者は業務の管理を一元的に行います。

ケアマネジャー 1名（常勤専従1名）
 1名（常勤兼務1名）
 2名（非常勤兼務2名）
 事務員 2名（常勤兼務1名、非常勤兼務1名）

《目標に対する取組状況》

- 適正な保健医療サービス及び福祉サービスが、多様な事業者から、総合的かつ効果的に提供されるように、公正中立な立場に立ち、居宅サービス計画を作成するとともに、サービス事業所等との連絡調整を行いました。
- 事業の実施にあたっては、関係行政機関、地域の保健・医療・福祉サービス事業者、ボランティア団体等との綿密な連携を図り、総合的なサービス提供の調整に努めました。
- 居宅サービス計画の作成にあたっては、利用者の心身の状況、その置かれている環境等に応じて、利用者が自立した日常生活を営むことができることを目標としました。

《実費負担（徴収した場合は項目ごとに記載）》

実費の徴収はありませんでした。

《その他（特徴的な取組、PR等）》

- ご利用者が在宅生活を継続できることを目標に意欲を引き出す支援に取り組みました。

《利用者目標》

※ 単位は省略してください。

【単位：人】

4月	5月	6月	7月	8月	9月
38	44	46	47	46	48
10月	11月	12月	1月	2月	3月
44	48	47	47	48	51

<以上>

平成21年度 自主事業収支決算書

事業名	①主な対象	自主事業決算額					
	②延べ参加人数	総経費	収入		支出		
	③一人当たり参加費		委託料	参加費	講師謝金	材料費	その他
障がい児放課後支援 「とんぼ」	障がいのある中学生	44,084		21,400	6,555		37,529
	199人						
	200円						
山のうえサロン	地域住民	30,302		8,400	11,110		19,192
	95人						
	100円						
はつらつクラブ	地域住民	84,130		41,760	63,600	16,800	3,730
	312人						
	200円						
藤棚茶房	地域住民	28,029	4,629	23,400			28,029
	311人						
	100円						
子ども絵手紙教室	小学生	565	565			565	
	63人						
	なし						
ピーナッツクラブ	未就園児	19,886	18,586	1,300	10,000	9,886	
	393人						
	行事内容による						
くるみ	認知症高齢者と保育園児	3,969	3,969				3,969
	436人						
	なし						
あじさいの会	地域住民	36,473	6,573	29,900			36,473
	357人						
	100円						
カメラ講座	地域住民	16,665	10,665	6,000	16,665		
	38人						
	500円						
柿落としコンサート	地域住民	5,000	5,000		5,000		
	35人						
	なし						
さわやか体操クラブ	地域住民	60,000	4,200	55,800	60,000		
	426人						
	200円						
木削り教室	子どもから大人	30,000	20,000	10,000	30,000		
	15人						
	500円						

事業ごとに別紙に記載してください。

平成21年度 自主事業収支決算書

事業名	①主な対象	自主事業決算額					
	②延べ参加人数	総経費	収入		支出		
	③一人当たり参加費		委託料	参加費	講師謝金	材料費	その他
ベビーマッサージ	親子	20,000	20,000		20,000		
	20人						
	なし						
シルバーサロン 「ほのぼの」	高齢者	44,576	44,576		38,554		5,672
	130人						
	なし						
ケアプラザ祭	地域住民	197,985	173,585	24,400	5,000	96,040	96,945
	428人						
	模擬店						
支えあい勉強会	地域住民	29,170	29,170				29,170
	105人						
	なし						
パソコンサロン	地域住民	39,584	15,548	24,000	26,400		13,148
	163人						
	200円						
あなたらしい老い支度	地域住民	5,178	5,178		3,000	2,178	
	103人						
	なし						
味噌作りを学ぶ	地域住民	17,076	11,076	6,000	5,555	11,521	
	12人						
	500円						
ボランティア感謝祭	ボランティア	25,629	25,629		5,000	20,629	
	30人						
	なし						
エコテープで小物入れを作ろう	地域住民	8,210	5,210	3,000	5,000	3,210	
	15人						
	200円						
男性介護者の集い	地域の男性	1,814	1,341	500			1,841
	5人						
	100円						
西区サブコーディネーター研修	サブコーディネーター	6,124	6,124		3,000	3,124	
	28人						
	なし						
4ケアプラザ合同事業	地域住民	416	416				416
	28人						
	収入は、他CP						

事業ごとに別紙に記載してください。

平成21年度 自主事業収支決算書

事業名	①主な対象	自 主 事 業 決 算 額					
	②延べ参加人数	総経費	収入		支出		
	③一人当たり参加費		委託料	参加費	講師謝金	材料費	その他
貸室懇談会	貸室登録者	9,250	9,250				9,250
	38人						
	なし						
マザー牧場に行こう	障がい児	138,560	124,560	14,000			138,560
	17人						
	2,000円						
脳の健康教室	地域住民	41,273	7,273	34,000			41,273
	196人						
	1,000円						
ケアマネサロン	ケアマネジャー	11,111	11,111				
	なし						
任意後見制度の活用について	地域住民	910	910				910
情報拠点化事業	地域住民	14,778	14,778				14,778
	756人						
	なし						

事業ごとに別紙に記載してください。

平成21年度 自主事業報告書

横浜市藤棚地域ケアプラザ

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
障がい児放課後支援「とんぼ」	障がいのある中学生を対象とした放課後の居場所（活動場所）。学校・家庭以外の人との繋がりをつくれる様に支援。室内・外出レクリエーションを実施。（西区社会協議会と共催）	毎月第2・4 火曜日 22回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
みつわの会	70歳以上の独り暮らし高齢者を対象に安否確認をしながら美味しいお弁当の配達。	毎月第2・4 火曜日 24回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
山のうえサロン	坂の上にある町内会館に出向き体操・健康相談・情報提供を行いました。	毎月第2木曜日 12回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
はつらつクラブ	介護予防の一貫。体操とウォーキングを行い、下肢筋力の衰えを防ぎ仲間作りのお手伝いを行いました。ウォーキングは、参加者に行程を作っていただきました。	毎月第2・4 金曜日 24回

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
情報アドバイザーeネットにし探検隊	パソコン操作のわからないところをボランティアさんがアドバイス。西区の情報発信の場。	毎週水曜日 (祝日を除く) 48回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
藤棚茶房	ミニデイサービス。地域の高齢者の閉じこもり予防・仲間作りのお手伝い。毎月違うレクリエーション・発声練習・体操を行いました。	毎月第1金曜日 12回

平成21年度 自主事業報告書

事業名	目的・内容	実施時期・回数
編み物クラブ	指先を使い脳の活性化を図る。閉じこもり予防・仲間作りのお手伝いを行いました。	毎月第1・3 土曜日 23回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
子ども絵手紙教室	小学生の子どもを対象に絵手紙の教室を開催しました。	毎月第2土曜日 (8・1月は休み) 10回

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
ピーナツクラブ	未就園児までの親子を対象に毎月違う年齢別のプログラムを実施。夏は、特別編として水遊びを行いました。	毎月第3木曜日他 15回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
くるみ	認知症高齢者が保育園園児に絵本・紙芝居を読み、交流を図る。認知症高齢者に役割を持っていただいた。	全20回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
作味会	男の料理教室。男性同士の居場所・仲間作りのお手伝いを行いました。	毎月第3月曜日 12回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
西区男の料理教室懇親会	4 ケアプラザの男の料理教室充実と仲間作り支援を行いました。	1回

平成21年度 自主事業報告書

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
あじさいの会	懐かしい思い出深い童謡唱歌を歌い仲間作り・元気で自立した生活を送れる様にお手伝いをしました。	毎月第3水・土曜日（合同日があり） 15回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
カメラ講座	カメラの基礎知識を学びました。講座後、自主活動団体「藤棚写真倶楽部」が誕生しました。	3回講座

事業名	目的・内容	実施時期・回数
柿落としコンサート	ケアプラザにピアノの寄贈があり、地域住民の方にケアプラザを知っていただく為にコンサートを開催しました。	1回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
さわやか体操クラブ	介護予防の一貫。体操を通じて閉じこもり予防・仲間作りのお手伝いを行いました。	毎月第2・4日曜日 24回

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
ハイツお茶の間会	市営住宅の住民を対象にケアプラザを知っていただくと共に情報交換・情報提供を行いました。	奇数月の第2金曜日 6回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
木削り教室	子どもから大人までの異世代交流事業。切り出しナイフの危なさ・使い方を学びました。	1回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
ベビーマッサージ	生後2ヶ月から6ヶ月の親子を対象にスキンシップの回り方を学び、親子の絆を深めてもらいました。	1回

平成21年度 自主事業報告書

事業名	目的・内容	実施時期・回数
ケアプラザ祭	地域の方にケアプラザを知ってもらおうと共にボランティア団体の活動の場として行いました。	1回

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
支えあい勉強会	地域の方を対象に「障がいの理解」として勉強会を開催しました。	4回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
パソコンサロン	パソコンの基礎知識を学んでもらいパソコンボランティアの育成を兼ねることが出来ました。	24回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
第4地区民生・児童委員との学習交流会	担当地域の民生委員・児童委員に地域ケアプラザの設置目的・事業内容を知っていただき、個別ケースを中心に行行政・地域の対応・支援サービス等を学び地域ニーズを見出し、地域活動へ繋げるための情報交換・勉強会を行いました。	5回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
ボランティア講座	ボランティアとは？からボランティアの心構えの講座・実習を行いました。	2回

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
味噌作りを学ぶ	ケアプラザに来たことがない方に気軽に来ていただける様に行いました。地域の方にボランティアを行ってもらい豆から味噌づくりを行いました。	1回

平成21年度 自主事業報告書

事業名	目的・内容	実施時期・回数
エコテープで小物入れを作ろう	地域の障がい者施設の方を講師に招き、実際の活動を話していただき作業で行っている小物入れを作りました。	1回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
男性介護者の集い	介護をしている男性を対象に居場所と交流会を行いました。	1回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
ボランティア感謝祭	日頃の活動に感謝すると共にボランティアさん同士の交流ができました。	1回

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
貸室懇談会	貸室の使い方・ルールの再確認と各団体との交流を図ることが出来ました。	1回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
西区サブコーディネーター研修	4ケアプラザのサブコーディネーターのスキルアップを目的に行いました。第2期西区福祉保健計画の勉強を中心に行いました。	1回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
4ケアプラザ合同事業「外国文化とふれあおう」	4ケアプラザのサブコーディネーターで企画・運営・実施をしました。第1弾 韓国編を行い、キムチ・ビビンバを作り文化の話で交流会を行いました。	1回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
マザー牧場に行こう	障がい児余暇支援として実施しました。	1回

平成21年度 自主事業報告書

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
脳健康教室	認知症予防。読み書き・計算・数字板を使いながら脳の活性化を図る。閉じこもり予防・仲間作りのお手伝いをしました。	7回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
シルバーサロン「ほのぼの」	いろいろな情報を地域の方に知ってもらえる様に情報を発信しました。毎月違う内容で提供しました。	10回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
認知症キャラバンサポーター養成講座	認知症を知り地域で見守りを作れる様に勉強しました。	1回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
相続と遺言について	地域住民に相続と遺言の知識を深めてもらえました。銀行が取り扱っているサービスの紹介をしました。	1回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
あなたらしい老い支度	権利擁護の普及啓発を行いました。「介護保険」「相続と遺言」「成年後見制度」「お葬式」の4回連続講座。	4回

事業名	目的・内容等	実施時期・回数

平成21年度 地域ケアプラザ決算報告書

施設名：藤棚地域ケアプラザ

平成21年4月1日～平成22年3月31日
(単位：千円)

	科目	地域活動交流	地域包括支援センター				居宅介護支援	通所介護	予防通所介護
			包括的支援	介護予防事業		介護予防支援			
				体力向上プログラム 事業	地域包括支援センター 相談体制強化事業				
収入	指定管理料収入	18,974	23,379	420	/	/	/	/	
	介護保険収入	/	/	/	/	7,472	7,213	93,448	
	その他	/	/	/	/	/	/	/	
	委託料(地域包括支援センター相談体制強化事業)	/	/	/	/	/	/	/	
	補助金収入	44	/	/	/	/	/	/	
	認定調査	/	/	/	/	/	217	/	
	積立金取崩収入	/	/	/	/	/	/	0	
	その他	471	397	/	/	/	270	1,005	
収入合計(A)	19,489	23,777	420	0	7,472	7,701	94,453	16,210	
支出	人件費	11,568	22,328	/	/	3,357	9,560	56,911	
	事務費	/	/	/	/	/	/	/	
	事業費	4,132	1,905	420	/	/	1,016	15,726	
	管理費	3,929	1,002	/	/	/	/	8,238	
	その他	/	/	/	/	/	/	/	
	他会計区分繰入金支出	/	/	/	/	/	/	26,002	
	修繕積立金	/	/	/	/	/	/	666	
	他居宅介護支援事業所委託分	/	/	/	/	2,761	/	/	
その他	/	/	/	0	/	/	/		
支出合計(B)	19,629	25,235	420	0	6,118	10,576	107,543	3,120	
収支 (A) - (B)	-140	-1,459	0	0	1,355	-2,876	3,120	3,120	

※ 上記以外の事業(認知症対応型通所介護等の事業)を実施している場合は、事業ごとに列を増やして同じように記載してください。